



橋本照嵩 写真展『石巻』

会期:2023年8月25日 [金] — 9月22日 [金]
作家によるギャラリートーク:8月26日[土] 16:00-17:00
レセプション・パーティー:8月26日[土] 17:00-19:00

Zen Foto Galleryは、8月25日から9月22日まで、橋本照嵩 写真展『石巻』を開催致します。1939年に宮城県石巻市に生まれた橋本照嵩は、少年時代より半世紀以上の長きにわたり生まれ育った石巻の町と人々の様子を記録し続けてきました。近年では、2011年3月の東北地方太平洋沖地震と津波の影響で石巻が甚大な被害を受けた直後から足かけ3年にわたり日常を取り戻そうとするふるさとの人々の姿を撮影し、2014年に春風社より『石巻 2011.3.27-2014.5.29』として上梓しました。

今回は橋本照嵩が初めてカメラを手にして間もない頃から30歳ごろまでの間に撮影した活気あふれる石巻の作品と、1981年に撮影した岩手県北上市の馬市の作品を展示いたします。また展示に合わせ写真集『石巻 1955.6-1969.5』を刊行いたします。

【新刊写真集情報】



ISHINOMAKI 1955.6-1969.5

橋本照嵩『石巻 1955.6-1969.5』

刊行日: 2023年8月 | サイズ: H257 x W182mm | 72頁 | ソフトカバー | 日本語、英語 | 価格: 未定 | お問い合わせ: info@zen-foto.jp, www.shashasha.co

橋本照嵩 | 1939年宮城県石巻市生まれ。1963年日本大学芸術学部写真学科卒業。1974年、写真集『警女』出版(のら社)にて日本写真協会新人賞受賞。同年、荒木経惟、中平卓馬、深瀬昌久、森山大道らとともに「15人の写真展」(東京国立近代美術館)へ参加し「警女」を出品。作品は国立近代美術館へ収蔵された。1979年から1981年には韓国を精力的に訪れ李朝民画を撮影した。2011年に被災した故郷の石巻へ定期的に帰郷し撮影を続けている。近年は「警女」シリーズを中心に国内外を問わず多数の個展を開催しており、主なものに禅フォトギャラリー(東京、2020年)、池田記念美術館(新潟、2022年)、AN-A Fundación(バルセロナ、2023年)などがある。主な出版物に、『北上川』(2005年、春風社)、『石巻-2011.3.27~2014.5.29』(2014年、春風社)、『西山温泉』(2014年、禅フォトギャラリー)、『新版 北上川』(2015年、春風社)、『叢』(2016年、禅フォトギャラリー)、『山谷 1968.8.1-8.20』(2017年、禅フォトギャラリー)、『警女アサヒグラフ復刻版』(2019年、禅フォトギャラリー)、『警女』(完全版、2021年、禅フォトギャラリー)などがある。